

第5回「わざ言語」研究会

朝原 宣治 講演会

～己の感覚との対話～

第1部

北京オリンピック銅メダリスト
朝原 宣治氏 講演



第2部

デモンストレーション
「感覚を用いた動作交流」



【朝原 宣治 (あさはらの ぬほる) プロフィール】

1972年6月21日生まれ、現在37才。身長179cm、体重75kg。兵庫県(神戸市)出身。夢野台高校→同志社大学→大阪ガス株式会社勤務。現在、大阪ガス株式会社人事部副課長・陸上部コーチ。高校時代から陸上競技に本格的に取り組む。走り幅跳び選手として高校3年時にインターハイ優勝。大学3年生の団体100mで10秒19の日本記録樹立。その加速力から「和製カール・ルイス」と呼ばれた。大阪ガス株式会社に入社、ドイツへ陸上留学し、ヨーロッパ競技会を転戦。アトランタオリンピック('96)初出場、100mで準決勝に28年ぶりに進出した。その後練習拠点をアメリカ、日本へ移して、コーチをつげずに練習。オリンピックには4回連続出場。世界陸上には6回出場。100mの日本記録を3度更新。自己記録は10秒02の日本歴代2位。2008年には自身4度目となる北京オリンピックに出場し、4×100mリレーでは、悲願の銅メダル獲得。同年9月競技生活引退(36才)。今年4月に、スポーツを通じた子供達の健全な成長と次世代を担うトップアスリートの育成を目的として陸上競技クラブ「NOBY TRACK & FIELD CLUB」を設立予定。これは大阪ガスグループの地域貢献活動の一環でもあり、引退後も自身のキャリアを社会に生かそうとチャレンジを続けている。妻は、元シンクロナイズドスイミング選手でバルセロナオリンピック銅メダリストの奥野史子さん。一男一女の父親。

日時

2010年2月20日(土)

12:30開場 13:00開演

場所

東北大学 川内萩ホール(仙台市青葉区川内40)

参加費

無料(事前申し込み不要)

お問合せ

022-795-7700(東北大学 北村研究室)